

平成30年度 第1学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	・平仮名五十音の読み書きが難しい児童がいる。	・ひらがなの正しい表記や使い方を定着させる。	・家庭学習も含め、ひらがなを書く機会を増やす。個別指導も充実させる。東京ベーシックドリルを活用し、定着を図る。
	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能	・文の中で促音や拗音、「は」「を」「へ」などの助詞を正しく使うことが難しい。 ・文中や文後に句読点を正しく付けることが難しい。	・短文を書く機会を増やすとともに、個別指導を充実させてその都度正しい表記で文を書かせる。	
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		・様々な言葉に触れ合う機会を増やし、語彙を豊かにする。 ・新出漢字を学習する際に、漢字の読み方だけでなく、成り立ちや意味についても理解させる。	・教科書を読むだけでなく、読み聞かせも多く取り入れる。難しい言葉については解説を入れながら読み進めていく。
算数	算数への関心・意欲・態度	・具体物を用いなくて計算することが苦手な児童がいる。	・数のまとまりを意識させ計算力の定着を図る。(10といくつ)	・授業の導入時間、家庭学習、東京ベーシックドリルを利用して反復練習をして、数の大小や系列の理解、計算力の向上を図る。
	数学的な考え方 数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解	・2とびや5とびの穴あき問題が苦手な児童がいる。 ・文章問題からの立式(特に加法か減法かの判別)が苦手な児童がいる。	・数直線を活用し、数の大小や系列が理解できるようにする。	・繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算、大きい数の学習では、既習事項である10のまとまりを関連付けながら授業を展開する。 ・パソコンや実物投影機を活用し、視覚的な理解を図る。
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		・文章問題の内容が理解できるようにする。 ・立式や計算の過程などを、一つずつ順序立てて指導する。	・文章に書いてあることをブロックで再現したり、図で表したりして、問われていることを視覚化していく。
生活	生活への関心・意欲・態度	・質の高い気付きに発展するのが難しい。	・新たな気付きにつながるような発問の工夫をする。	・観察や活動の視点を示し、新たな気付きにつなげるようにする。
	活動や体験についての思考・表現 身近な環境や自分についての気付き	・自ら活動しようとする意欲があまり見られない児童がいる。	・児童の発言を、積極的に授業の中に取り入れる。 ・さまざまな活動体験を取り入れる。	・児童の安全や健康に配慮したうえでさまざまな活動ができるような環境を工夫したうえで、外での活動の時間を多く取り入れる。
音楽	音楽への関心・意欲・態度	・大きな声で元気よく歌うことはできるが、きれいな歌声で歌うことが難しい。	・曲を聴く際にきれいな歌声、きれいな音色に注目させた後、歌わせたり、演奏させたりする。	・楽しい雰囲気の中で、教師や模範となる児童の歌声や演奏を聴き、自分と比べて気を付けさせるようにする。
	音楽表現の創意工夫 音楽表現の技能 鑑賞の能力	・大きな音で演奏することはできるが、きれいな音色を出すことが難しい。	・鍵盤ハーモニカを演奏する際に、事前に階名で歌ってから演奏させるようにする。	
図画工作	造形への関心・意欲・態度	・道具の使い方や技術面での個人差が大きい。	・道具の基本的な使い方や色の塗り方などを丁寧に指導していく。	・道具を使う機会を増やし、スモールステップで指や手をたくさん使う時間をとるようにする。
	発想や構想の能力 創造的な技能 鑑賞の能力	・大きく表現することが難しく、小さくなりがちである。	・画用紙の上に物を置き、その周囲に線を描かせるなど、大きく表現する方法を伝える。	・見本を示し、大きく表現する良さを伝えていく。
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	・技能的な個人差が大きい。	・体を動かす楽しさを伝え、基本的な動きができるようにする。	・段階的な動きを使った学習過程にし、場の設定や動きのポイントを丁寧に伝える。また、コーディネーショントレーニングを取り入れる。
	運動や健康・安全についての思考・判断 運動の技能 健康・安全についての知識・理解	・次の活動への指示を待ちきれず、動いてしまう児童がいる。	・分かりやすい指示を出し、メリハリの効いた授業づくりを行う。	・「運動の楽しさ伝え隊」と協力して個別指導を充実させる。 ・活動意欲を認めつつ、集団行動ができるようにきまりを分かりやすくし、けじめをつけて楽しく運動するための工夫を考えさせる。